

新刊紹介

望月克哉編『人間の安全保障の射程—アフリカにおける課題』

望月克哉



アジア経済研究所
2006年

本書では、すぐれて今日的な課題である人間の安全保障について、その概念枠組みの適用可能性をアフリカ地域の文脈で検証している。この考え方の間口の広さを意識して、国連人間の安全保障委員会の報告書を下敷きに、まずは「恐怖からの自由」の側面からアプローチする。国家（政府）に視点を据えた人間の安全保障の論点を検討するため、平和構築、予防外交といった隣接概念とのインターフェイスを探る作業からはじめて、国際社会の取り組みに伴っている国際介入をめぐる問題にも焦点をあてる。また、人間の安全保障論の中核的課題である「移動する人々」に係るテーマに加えて、国連人間の安全保障委員会が提示したボトム・アップ・アプローチについて

も論じる。以下では、各章の内容をできるだけ詳しく紹介してみたい。

第一章は、平和構築において人間の安全保障の考え方が直面する困難、平和構築の戦略と包括的な人間の安全保障の要請との間の齟齬を、「内戦」状況に陥ったコンゴ民主共和国（前ザイール）をめぐる事例に照らして検証する。まず、「内戦」の歴史とも言えるルワンダの内戦状況と、そこでの平和構築と人間の安全保障に係る問題を指摘する。「内戦」の経緯を追ったのち、国際社会の対応、主要な平和構築策を整理する。以上を踏まえて人々の保護と地域大の安全保障という二つの論点を提示、コンゴ民主共和国の事例が示唆する漸進的アプローチの功罪を論じたのち、総合的な人間の安全保障の戦略の必要性に言及する。

第二章は、一九九〇年代に提唱された予防外交とあわせて人間の安全保障を論じる。予防外交の展開を跡づけつつ、国内対立などの危機を未然に防ぐ構造的予防としての「民主化」についてマラウイを事例に検証する。まず「新たな予防外交」として、短期的な武力紛争の直接的予防と、中長期的な構造的予防を紹介する。次に、人間の安全保障の観点から「民主化」がはらむ問題点を指摘しつつ、「民主化」で平和裡に政権が交代したマラウイについて、政治過程と、これをめぐる国内対立、残された課題について論じたのち、構造的予防の手段としての「民主化」、

予防外交における国際社会の役割を考察する。

第三章は、国家の混乱や政府の不在により人々の生命や安全が確保されない場合の、国際社会の関与のあり方という問題を扱う。これをめぐる積極論あるいは慎重論を踏まえて、いわば積極論に基づいたソマリア内戦への国際介入の事例を検討する。

まず、国際介入をめぐる議論とともに、国際介入に影響を与えた政策枠組みを国連および地域機構について整理する。次にソマリアへの国際介入を概観し、多様な主体による試行錯誤がもたらした効果、ジレンマ、矛盾を明らかにする。最後に、ソマリアのような破綻状態の国家に対する国際介入の問題点と条件を整理し、国際社会のあり方を論じる。

第四章は、アフリカ中部の大湖地域の事例に照らして、「移動する人々」の安全保障について考察する。独立期以来、同地域では紛争に起因する大規模な人口移動が発生、特に一九九〇年代以降は各国の政治情勢にも甚大な影響を与えており、そこには紛争により強いられた人々の移動が、さらなる紛争を引き起こすという連鎖があった。そこでまず、紛争が強い人口移動をめぐる議論を紹介したのち、アフリカ大湖地域での紛争とそれらに強いられた人口移動の経緯を踏まえて問題の文脈を整理する。次に、国際社会の対応とそれらに起因する問題を指摘した上、そこから導かれる論点を提示する。

第五章は、自発的移動とみなされた人々が人間の安全保障論の視野に入っていない点に注目し、非自発的再定住はもとより、自発的再定住もまた人間の安全保障を損なう危険があることを強調する。エチオピア政府の「自発的再定住プログラム」の下での再定住サイトとその人々をめぐる状況について、フィールドワークに基づいて分析する。まず、食糧安全保障政策としての再定住化をめぐる論点を整理したのち、エチオピアの政策を跡づけ、同国での再定住プログラムの概要を紹介する。これを踏まえて調査フィールドについての詳細な実証分析を行い、そこから得られた含意を整理する。

第六章は、地域社会で生起する紛争が人々に深刻な不安状況をもたらしており、適切に対処しなければ社会全体にも甚大な影響を及ぼすとの認識に立ち、人間の安全保障の考え方の有効性を検証する。まず、紛争の性格とこれが人々の暮らしに及ぼす影響について考察し、紛争の要因と構造を解明する。次に、ナイジェリアの事例を中心に紛争をめぐる言説・論点を検証し、紛争管理に論を進める。従来の紛争解決パターンとその問題点を整理したのち、ナイジェリアで活動する二つのNGOを事例に取り組みの特徴を検討し、人間の安全保障の観点からそれらのポイントがどこにあるのかを論じる。

（もちつき かつや／アジア経済研究所新領域研究センター）